

● 地域の情報や身近な話題、  
耳寄りな情報を  
どしどしお待ちしております！

## 地 「社会を明るくする運動」伝達・出発式 地域に根ざした見守り

毎年7月は「社会を明るくする運動」強化月間です。この運動の啓発を図ろうと7月1日、長島町役場で伝達式と出発式がありました。この日長島町役場応接室で、川添健町長へ出水保護区長島支部長の豊田直俊さんが法務大臣から、同支部保護司の平山昌道さんが県知事から、社会を明るくする運動の伝達を行いました。川添健長島町長は「犯罪者の防止や保護にご尽力いただき大変感謝しています」とあいさつ。豊田直俊長島支部長は「更正、保護は自分たち地域の問題と考え、保護司として地域に根ざした活動展開を図って行きたい」とお礼を述べました。



↑出水保護区保護司会長島支部のかたがた

ひざまで漬かり流れてきたごみを拾う児童たち↓



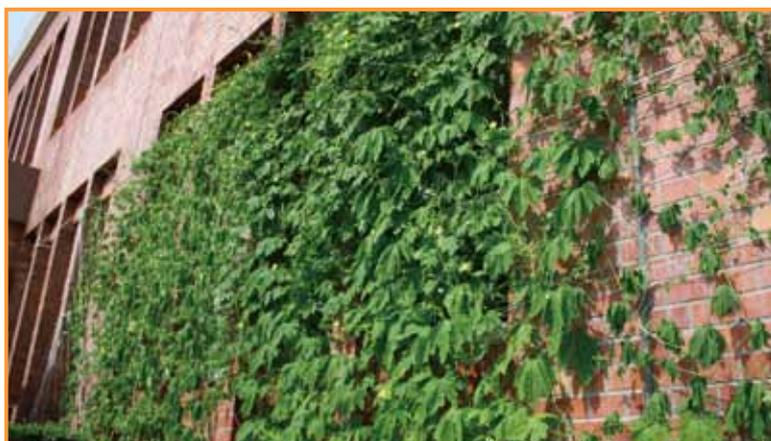
## 自 汐見小学校で全校ボランティア 自然を大事にいつまでも

汐見小学校（竹内功校長）は、自分の住む地域のために役に立とうと全校ボランティアを行いました。この日は、小学校前に流れる汐見川のごみ拾いでボランティア精神を養い、汗を流しました。児童たちは準備したリヤカーが、梅雨時期の大雨で上流から流れてきた金物やビニールなどのごみでいっぱいになりびっくり。桑畑由希教諭は「ボランティアを通して自分のことだけではなく、回りを見配れる人になってほしい」と児童の成長を期待しました。

## 暑 緑のカーテンで節電対策 暑い夏を乗り切ろう

長島町役場指江庁舎では、玄関横の壁に緑のカーテンのニガウリが大きく育っています。この指江庁舎の取り組みは3年目を迎え、真夏の強い日光をさえぎり、節電対策として大いに役に立っています。現在実ったニガウリは収穫間近となっており、例年このニガウリは庁舎に来たお客様に要望があれば振る舞われています。

同じく緑のカーテンに魅了されたのは唐隈集落の小田強さん。底が割れ廃棄された馬鈴薯コンテナを利用し、6月1日にニガウリ4本、ヘチマ1本を植えました。現在では屋根まで伸び、たくさんの実がついています。小田さんは「今年は5回目の挑戦で特に節電を意識して育てました。クーラーを使用する機会が少なくなり、エコ活動の一つになってます」と答えてくれました。



↑長島町役場指江庁舎の緑のカーテン



←今年はエコ活動の一つとして育てた小田さん宅のニガウリ